

山田小学校だより (Metamorphose)



文責 校長 谷川晴峰

火災を想定した【避難訓練】を実施しました!

昨日の朝、8時10分から「公仕室から出火」という想定で、避難訓練を実施しました。

避難の際に重要な4つの約束・・・（押さない・走らない・しゃべらない・戻らない）をきちんと守り、短時間で避難することができました。およそ3年前に沈没した韓国の大型旅客船の事故でも指摘されていましたが、「一瞬の判断が生死を分けること」「最終的には自分で判断し決断し、自らの命を守ること」が重要であると常々感じています。

本校が掲げている、「原理」「応用」「発展」は、子供たちにいつ襲いかかってくるか分からない事故や災害に対しても、極めて有効に機能します。普段から身の回りで起きるかもしれない事故や事件を想定し、周囲の状況や情報を冷静に判断し、その場に応じた行動をとる。危機管理の要諦は、様々な力を統合させると共に、変化に即した考動（応用力）にあると思います。「原理」「応用」「発展」は、どのような状況でも、生き延びる力、生き残る力の下支えとなります。（下の写真は、昨年度のものです）



4月24日(火)に、授業参観・学級懇談会・PTA総会が、開催されます!

今年度最初の授業参観・学級懇談会・PTA総会が、24日(火曜日)に開催されます。多くの保護者の皆様方に御参加いただければ、ありがたいです。時間帯は、下記のとおりです。

授業参観 : 13:30～14:15

学級懇談会 : 14:30～15:00

PTA総会 : 15:10～16:10 (会場は、体育館です)



山田小学校では想像もできませんが、国内に目を向けると、「授業参観」が成立しない学校があるそうです。担任が授業を進めているにも拘らず、スマートフォンを操作したり、大きな声でおしゃべりをしたり、我が子の様子を至近距離で撮影したり・・・、言語道断です!「親の顔」を見てみたいものです。

「規律」「公共心」「常識」・・・全て「原理」です。親の姿を、子供たちは見えています。いつの間にか染み込んでいきます。どうせ見られるなら、どうせ染み込んでいくのなら、「よい姿」「よい振る舞い」を見せることが親の務めです。それが、子供たちの「応用」や「発展」に連動していくはず!